

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	春日井市第二希望の家		
○保護者評価実施期間	7年 11月 4日 ~ 7年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年12月5日 ~ 令和7年12月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・併行利用に関する関係機関との連携、移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に承諾をいただき、保育園、幼稚園と定期的な電話連絡や年1～2回の訪問での情報共有を実施している。保護者の希望に沿い、移行の際に、ケース会議の開催や引継ぎシートを作成しスムーズに園生活には入れるよう支援した。 ・療育支援事業を通して、地域の保育園、幼稚園、認定こども園との交流の機会を設定している。 ・地域の保育園の園庭開放に参加している。 ・年1回、公立保育園保育士との合同研修会を企画・実施している。 ・新年度より、完全移行が不安なご家族や利用児向にサービス提供時間内にフォローアップ療育を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話連絡、訪問以外の効率的な情報共有を実施できるツール(紙面等)を検討していく。
2	・家族支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通所を実施しており、早期発達支援の受け皿としての実績がある。保護者同士が交流できる場の設定や随時面談等で相談支援できる体制を整備している。 ・保健師や地域の保育園・幼稚園等関係機関との連携が構築されているため、随時情報共有を実施している。 ・修了した児童の保護者を対象にOB会を実施し、保護者同士の交流、情報交換の場を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、利用している保護者とOBの保護者が交流できる機会を検討していく。 ・きょうだい児へのサポートを検討していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時を想定した職員間の訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、利用者とともに避難訓練、不審者訓練を行っているが、その日の配置によって役割が変わるために、非常時の体制確認が不足している。 ・手洗い研修、頭を打った時の緊急対応研修を今年度実施したが、その他の緊急時の研修が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画の中に、実施したことのない非常時の研修を組み込み、職員研修に取り入れていく。
2			
3			